

知っていますか？くしろの地産地消 地場産品をもっと食べて、使って、くしろを元気に！

問合せ 市役所産業推進室 (☎31-4550)

市では、地域にある優れた資源を活用して、さまざまな地産地消の取り組みを進めています。今回は、地産地消の意味や地域への効果、市が行っている取り組みについてお知らせします。

●地産地消とは…

地域で生産されたものを地域で消費しようとする活動です。
水産物や農畜産物などの食べ物を思い浮かべる人も多いと思いますが、食材だけでなく、くしろで生産・製造されている工業製品や木製品の他、さまざまなサービスなども地産地消の対象に含まれます。

●どのような効果があるの？

地産地消を進めることで、地域外へのお金の流出を少なくすることができます。
地域内の産品を消費することで、地域内でお金が回り、産業の活性化、雇用の増加など経済的効果につながり、くしろが元気になります。

くしろの地産地消 **マルシェくしろ** の取り組み

- 1 商品の価値・魅力が伝わる「ストーリー」を発信しています
- 2 市民が知らない、魅力ある商品を発掘し、提供しています



釧路の石炭をイメージした菓子セットの企画・販売



「くしろスイーツグランプリ」を受賞した釧路生まれの商品などの詰め合わせや、オリジナルギフトを買うことができます。

「マルシェくしろ」はこんなお店です

arché Kushiro
マルシェくしろ
くしろの地場産品セレクトショップ

取り組み内容

地元企業の製品の販路拡大を支援します！



▲テスト販売

地元スーパーで販売決定

地元企業が開発した「塩さばホー仕込み」をテスト販売し、高い評価を得て市内のスーパーでの常設販売につなげました。

- 3 価格競争に巻き込まれない、価値ある商品を提供しています
- 4 新たな商品を企画・開発し、「売れる商品」を発信しています



管内自治体の物産フェアの開催



釧路管内の市町村と連携し、地域の魅力ある地場産品を紹介する「くしろ食財じまん」を開催しています。

市長から皆さんにお伝えしたい vol.36

「釧路の地産地消」

地産地消の目的は、生産者と消費者が連携しながら地域に愛される地場産品やサービスを作り、それを積極的に活用することにより、地域独自の価値を生み出し、豊かな生活を共有することにあります。

この目的を達成するため、釧路市では、平成16年10月、生産者・流通業者・支援団体など17団体により「地産地消くしろネットワーク」を設置し、「くしろ食財の日」などの地産地消の活動を地域が一体となって進めてきました。

市の施策としても、平成24年度に策定した「政策プラン」の「4つのビジョン」の1つ「地域資源の価値を高め域内循環させる地域

経済」に基づき、地産地消、ブランド化の発展・継承に取り組んでいます。具体的には、釧路地域の地場産品を取りそろえた「マルシェくしろ」の設置、「エゾシカ肉の活用」などの食分野のみならず、森林資源の「地材地消」、石炭などエネルギーの地産地消など、管内市町村が生産・消費活動を高めていくことにも取り組んでいます。今後も、「政策プラン」を実行する中で、釧路地域の創意工夫・独自性を生かすとともに、消費者と生産者が相互に理解を深めながら、さらなる地産地消を推進していきたいと考えています。

釧路市長 蝦名 大也